

検査内容変更および受託再開のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記検査項目の検査内容変更および受託再開について、
下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 変更・受託再開日 2021年7月19日(月) ご依頼分より

■ 対象項目

項目コード	検査項目
62009	プロトンピンフラグメントF1+2

■ 変更内容

変更内容	新	現
所要日数	2~5日	2~4日

本検査項目は測定試薬の販売中止に伴い、2021年3月31日をもって受託中止としておりましたが、
試薬販売が再開となりましたため、受託を再開いたします。

また、受託再開に伴い上記のとおり所要日数を変更しております。その他、検査内容の詳細は裏面
をご確認ください。



● プロトロンビンフラグメントF1+2

プロトロンビンが、活性型第Ⅴ因子、Ca²⁺、リン脂質の存在下に活性型第Ⅹ因子と巨大複合体（prothrombinase）を形成し、限定分解を受け活性化されトロンビンとなる際にプロトロンビンフラグメントF1+2（F1+2）が遊離される。F1+2は第Ⅹ因子活性およびトロンビン生成を反映するものと考えられる。よって凝固亢進状態およびワーファリン服用時の抗凝固能としてのモニタリングやDICの病態把握治療効果判定に有用である。

▼検査要項

検査項目名	プロトロンビンフラグメントF1+2
項目コード	6200 9
検体量	 血漿 0.3 mL
容器	PC2→A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	凍結保存してください
所要日数	2～5 日
検査方法	ELISA
基準値（単位）	69～229 (pmol/L)
報告範囲（単位）	20以下、21～1190、1200以上 (pmol/L)
桁数	有効 3桁、整数 8桁、小数 0桁
検査実施料	193点 （「D006」出血・凝固検査「28」）
判断料	125点（血液学的検査 判断料）
備考	凝固検体取り扱いについては、容器の取り扱い方法②ページをご参照ください。 &ヤ

●参考文献

Pelzer H, et al : Thrombosis and Haemostasis 65 (2) : 153～159, 1991. (検査方法参考文献)
丸山 征朗 : 日本臨牀 68 (増) : 685～687, 2010. (臨床的意義参考文献)